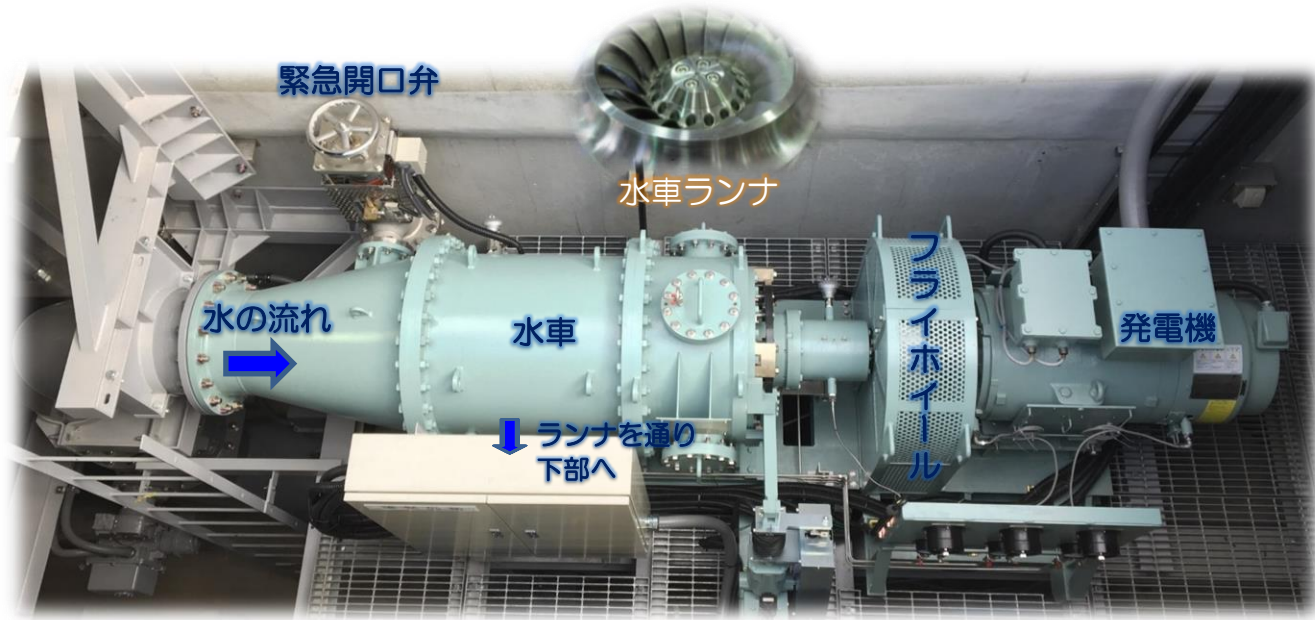
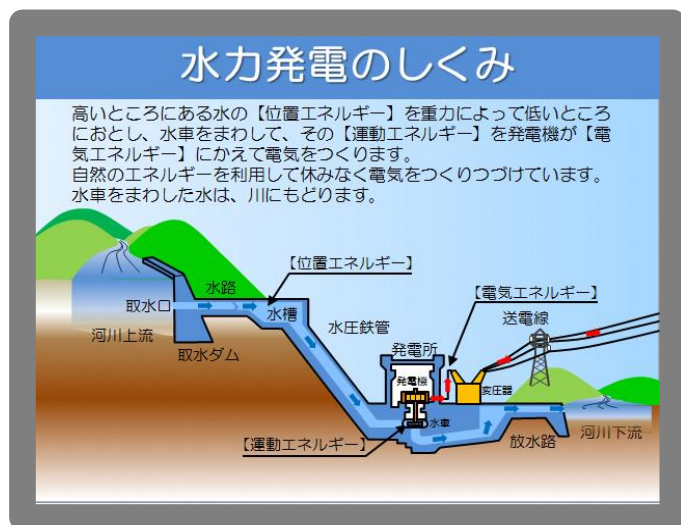
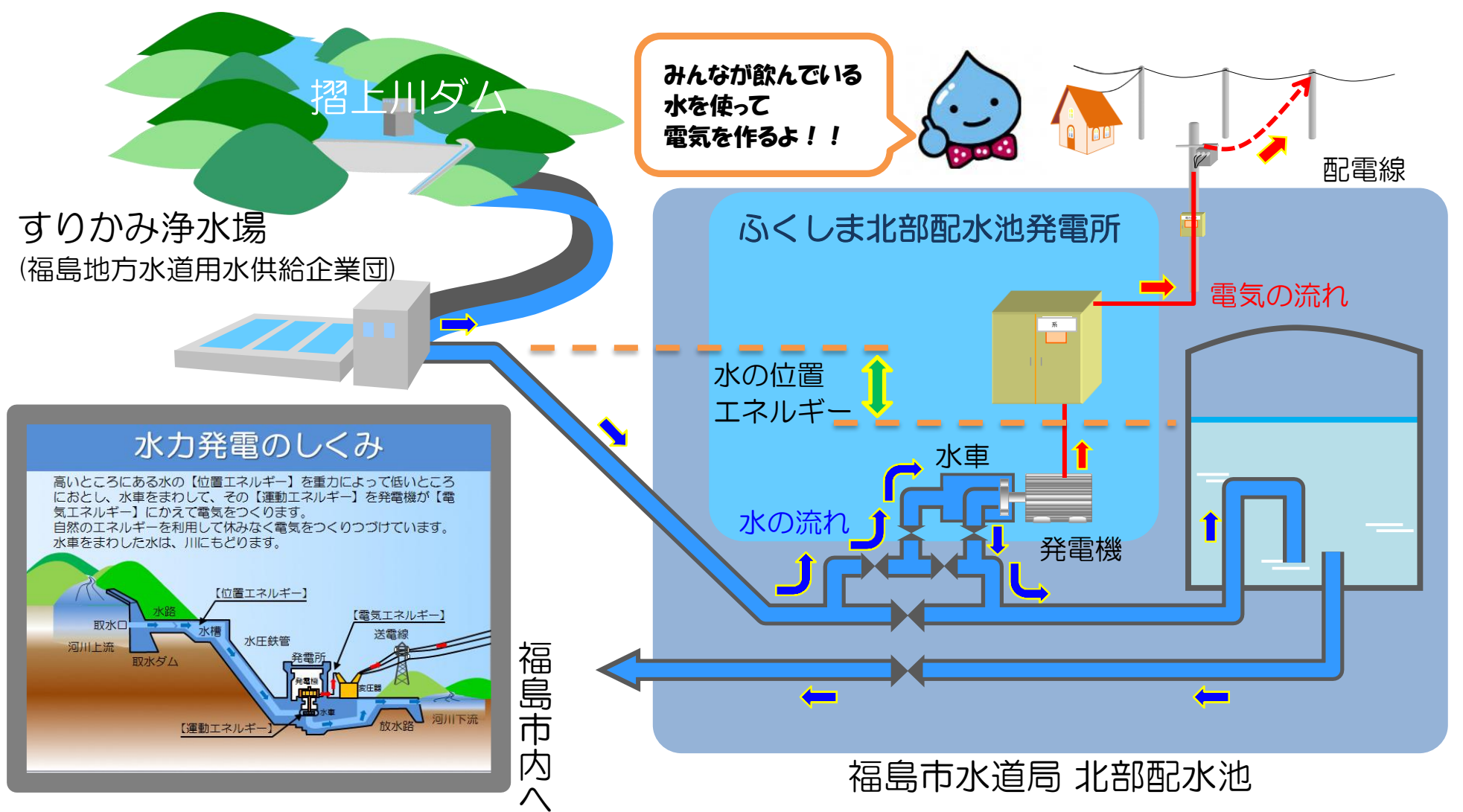


水道の水を利用した「ふくしま北部配水池発電所」

福島市水道局では、福島市が進める「環境最先端都市 福島」の実現と、「ふくしま水道事業ビジョン」で掲げる基本方針”地球にやさしい水道へ挑戦”に基づき、水道水の安定供給を確保しながら、積極的に環境負荷の低減に取り組んでおります。

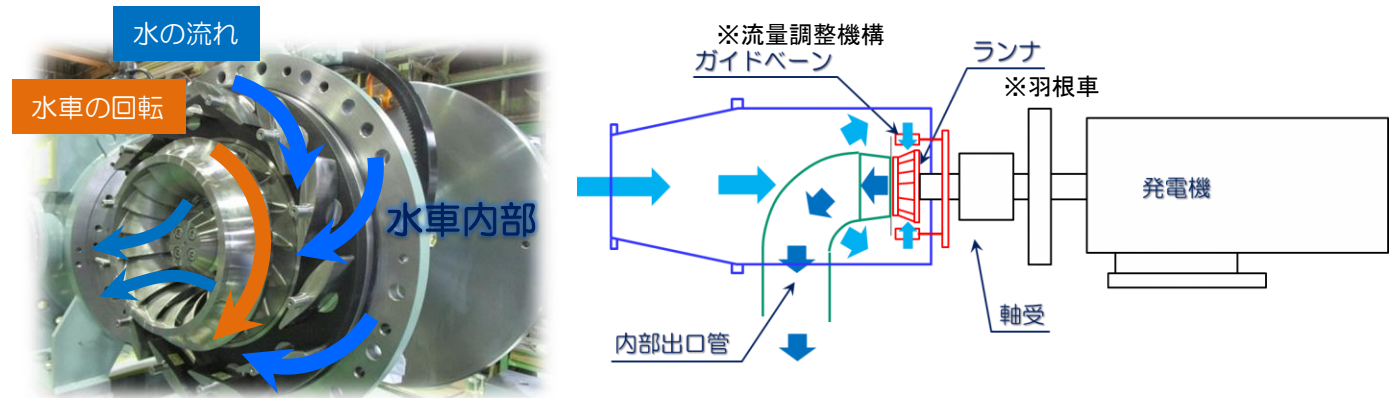
ふくしま北部配水池発電所は、福島市水道局初の水道施設を利活用した小水力発電施設であり、公募型企画提案方式により決定した東京発電（株）と連携し、国の「再生可能エネルギー固定価格買取制度」を利用して電力会社へ売電するものです。

この施設は、すりかみ浄水場（福島地方水道用水供給企業団）から送水されてくる水の流量と圧力のエネルギーを利用して水車・発電機を回し、一般家庭の約240世帯分の電気を作り、配電線を使ってみなさんのご家庭や工場へと送られます。



ふくしま北部配水池発電所データ

最大出力	115kW
水車	円筒ケーシング・インライン型フランス水車
最大有効落差	62.804m
最大使用水量	0.256m ³ /秒
年間発電電力量	約73万kWh (一般家庭約240世帯分の年間使用電力量に相当)
発電電力用途	全量売電
環境効果	年間約370トンのCO ₂ を削減
運転開始	平成30年4月1日



福島市水道局
東京発電株式会社